

「遺品整理士」養成講座

孤立死増、核家族化で需要高まる

遺品整理士認定協会(北海道千歳市、須田威会長)が11年11月より開講している「遺品整理士養成講座」は、これまで全国6000人以上が受講し、清掃業、葬儀社、リサイクル業者を中心に2000人以上が「遺品整理士」の認定を受けている。

高齢者の孤立死の増加や核家族化が進むにつれ、遺

族に代わる遺品整理業への需要が高まる一方、業者による不法投棄や無断売却、また高額請求などのトラブルが絶えない。同協会が認定する遺品整理士は供養、廃棄物、リサイクル製品に関する知識を備え、法規制に遵守した遺品整理業を行う。

養成講座は2カ月の通信講座を受講し、認定は提出

課題の合否で決定する。受講資格は特になく、開始時期も不問。受講料は2万5000円、認定手続きを含む会費は5000円で2年間有効。

また同協会では遺品整理士や業者の紹介なども行っており、今後は遺品整理業に一定のガイドラインを策定し、健全性の高い遺品整理業の普及をはかっていく。

養成講座等に関する問合せは同協会(☎0123・42・0528)まで。